



解 答 速 報

福岡大学医学部 英語

2020年 2月 2日実施

(I) 有用性と価値について問うことで、チェスをする者は個々人が与えられた人生をどのように生きて、何をして過ごすべきかという最も根本的な哲学的問いに深く関わることになるのだ。

(II)

22	23	24	25	26	27	28	29
1	1	1	6	1	7	2	0

(III)

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
30	31	32	33	34	35	36	37
1	4	3	4	4	2	2	4

(IV)

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
38	39	40	41	42	43
5	3	1	3	4	5

(V)

	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
A	44	45	46	47	48	49
B	50	51	52	53	54	55
C	56	57	58	59	60	61
D	62	63	64	65	66	67
	7	5	3	6	4	1

〔Ⅰ〕 チェスをする者は単にチェスをしているのではない、それはちょうどチェスの駒が単なる木片ではないのと同じである。様々な予測や想像をはたらかすことによって、チェスをする者は、放射状にはりめぐらされた思惟の主体となり、そこでは論理と夢想、そして推論と気まぐれが交錯する。有用性と価値について問うことで、チェスをする者は個々人が与えられた人生をどのように生きて、何をし
て過ごすべきかという最も根本的な哲学的問いに深く関わることになるのだ。

〔Ⅱ〕 11, 16, 17, 20

11: 第1段落第2文から、虫の中には家庭にある食品や農場にある作物を害するものがあることがわかるため、人類の食糧資源に影響を与えていることがわかる。

12: 選択肢は、虫を見るといつも恐れや嫌悪感を抱くという内容。第2段落第1文から、虫を一目見るだけで恐怖を感じ、脳の活動を示す画像から、しばしば嫌悪感を抱いていることがわかるが、常に感じるわけではないため不適。

13: 選択肢は、幼少期に虫を避けるようになるという内容。第2段落第2文から、進化の過程で虫を避けるような反応が脳に組み込まれたとあり、幼少期ではないため不適。

14: 選択肢の「これまでに確認された中で最も嫌悪感と恐怖心を抱かせる昆虫」に該当するものは本文中に確認できない。第3段落最終文が言わんとすることは、外骨格等の、一般に人が恐怖心や嫌悪感を抱く要因を克服したと思っても、新たに発見された事実がさらに恐怖心や嫌悪感を抱かせる要因となりうる、ということであり、その一例がある種のゴキブリについての事実である。

15: 第4段落第1文に“Not every insect disgusts us ~”とあり、例としてチョウが挙げられており、第4段落第2文ではミツバチが虫らしい外観を持ちながら唯一愛されている種であると示されている。チョウだけが嫌悪感を抱かせない虫であるわけではないため不適。

16: 第4段落第4文“~ from our earliest days as a species, we have had a special relationship with ~ the honey bee”から、選択肢の内容と一致する。

17: 第6段落最終文に「幸運なことに、私たちと好きなと同じ匂いがミツバチも好きなのだ」とあり、花の匂いが人間にとってもミツバチにとっても良い匂いであるということが分かる。

18: 選択肢から言えることは、

「スズメバチがミツバチほど花粉を運ぶのが得意でない」のは「花がミツバチを惹きつけるように進化した」からだ

という因果関係であるが、この論理は本文内容とずれている。第6段落第3文で、ミツバチはスズメバチより花を受粉させやすい体の特徴を持つように進化したことが触れられており、さらに第6段落第5文から次の因果関係を確認できる。

「花は主にミツバチを惹きつける形や色を進化させた」のは「ミツバチは花粉を運び花が繁殖する手助けをするのがとても得意である」からだ

このように、花がミツバチを惹きつけるように進化したのは「原因」ではなくて「結果」である
とわかる。

19: 選択肢は「もうミツバチの数が減少しているので、ミツバチは以前ほど働かない」という内容。最終段落第2文で「私たちが食べるほぼすべての果実、木の実や野菜はミツバチの働きのおかげなのである」、最終段落第3文でミツバチが激減しているという内容はあるが、働かなくなるという内容は言及されていない。

20: 最終段落第4文「~, ミツバチや他の昆虫が元々生息している場所を人間が占有することが、昆虫の数が減少した主たる原因である」とあり、人口集団の拡大が昆虫の数の減少の主要因だということがわかる。

〔Ⅲ〕 (a) 1. for extension

~ a proposal () the highway route nearby their homes in the peaceful area.

.....部分が名詞句なので、1. は for extension of とすべき。

- (b) 4. to steer with
 ~ and sails to help () their ships.
 steer ~ 「~を操縦する」 4. は with を取り除く必要がある。
- (c) 3. was kept
 ~ a key element that () them from finding a cure for the disease.
 keep A from *doing* ~ 「Aが~するのを妨げる」を用いるならば、空欄には能動態が必要。
 3. は was を取り除く必要がある。
- (d) 4. hoping of seeing
 ~() their music idols.
 hope for ~ 「~を望む」 4. は hoping for seeing とすべき。
- (e) 4. whom paid
 ~ those (.....) its annual membership fee.
部分を pay を用いて関係節にする場合、主格の関係代名詞が必要。4. は **who paid** とすべき。
- (f) 2. couldn't realize that
 ~ I still () the point of what the author was trying to express.
部分が名詞句なので、2. は that を取り除く必要がある。
- (g) 2. do a request in
 ~ had to () the local government office **for** permission to enter ~
 make a request for ~ 「~を求める」。3. は **make a request in** とすべき。
- (h) 4. is like that
 ~ it () the government is going to make ~
 It is like SV ~ 「~のようである」。 It is likely that SV ~ 「~の可能性はある」。
 4. は that を取り除く、または **is likely that** とする必要がある。
- [IV] (a) 5 compláin [éi]と同じものは sacred
 1. cómfort [Á] 2. bárgain [á:] 3. céiling [í:] 4. nóminate [ó]
- (b) 3 cónscience [ó]と同じものは cónsequence
 1. sóciety [ár] 2. concéive [í:] 4. wéapon [é] 5. concentrátion [éi]
- (c) 1 indústrial [Á]と同じものは wónderful
 2. admínistrative [í] 3. áudience [ó:] 4. cónstitute [ó] 5. fáculaty [æ]
- (d) 3 sécretary [é]と同じものは réckon
 1. ínsect [í] 2. mólecule [ó] 4. recéipt [í:] 5. annivérsary [ó:]
- (e) 4 políce [í:]と同じものは génius
 1. devíce [ái] 2. divórcé [ó:] 3. oppóse [óu] 4. confírm [ó:]
- (f) 5 cátalogue [æ]と同じものは diplomátic
 1. demócracy [ó] 2. phenóménon [ó] 3. prógram [óu] 4. cóóperate [ó]

[V] A. 714352

What **we have in** mind is a nonprofit organization **whose goal is** to promote tree planting
have O in mind 「Oを考慮している」という構造を予想して， What で始まる名詞節を完成させる。
関係代名詞 whose を用いて形容詞節を作り， a nonprofit organization を修飾する。

B. 254376

Her explanation was passionate and detailed **enough to convince** us that the exhibition was **worth a visit**.
be 形容詞 enough to do 「～するほど…である」から空所 (a), (b) が確定する。日本文から， (c) に
入る動詞は convince と確定させる。 visit は不定冠詞 a を伴い worth の目的語とする。

C. 416372

Mr. Tanaka is **among those who** point out that the phenomenon is **of particular importance**.
S be among 複数名詞 で「Sは～のうちの一人・一つである」から (a), (b) が確定する。(c)の直後
に point out という V があることから，主格の関係代名詞 who を用いて (b)those を修飾する形
容詞節を作る。 of+抽象名詞で形容詞となることから後半の組み合わせが確定する。冠詞を伴わ
なければ very は名詞を修飾する形容詞とならないため， (e)に very を誤答しないよう注意する。

D. 753641

Although a satisfactory agreement **seemed out of reach, all there was left** for us to do was to continue
negotiating.
seem (to be) C 「Cのようである」， be out of reach 「手が届かない」から前半の空所を完成させる。
「～しかない」という日本語から， all を先行詞とする節を作り，これが was の主語となる。

講評

- | | | |
|-----|----------------|---|
| I | [英文和訳] (標準) | 構造自体は平易だが，内容はやや抽象的であり，理解度により訳語の選択に差がつくだろう。 |
| II | [長文内容一致] (標準) | 「昆虫への生得的忌避感と例外としてのミツバチ」に関する英文。文章自体は平易だが，選択肢の一部にはまぎらわしい設問も含まれる。昨年並み。 |
| III | [文法語法四択] (やや難) | 一昨年度まで2年続いた「適していないもの」を選択する問題が復活。一部，正誤の判断に迷う問題も含まれ，難易度は上がった。 |
| IV | [発音アクセント] (易) | 例年同様アクセントがある母音の発音の異同を問う形式。全問正解を目指したい。昨年並み。 |
| V | [語句整序] (やや難) | 昨年度より難化。日本文に惑わされず，文構造・品詞に気をつけたい。 |

大問Ⅲの文法問題が2017年度，2018年度に出題された「適していないものを選び」の形式に戻り，難易度が高まった。目標は65%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せはメビオ ☎0120-146-156 まで



☎ 0120-142-762
受付時間 10～22時 土日可
日曜は19時まで
<https://www.melurix-eishinkan.com/>
福岡市中央区舞鶴1-1-11
天神ガラスビルディング2F



医学部専門予備校
YMS

☎ 03-3370-0410
受付時間 8～20時 土日祝可
<https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14



☎ 0120-146-156
【携帯からOK】 土日祝可
受付時間 9～21時
<https://www.mebio.co.jp/>
大阪市中央区石町 2-3-12
ベルヴォア天満橋